

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスひまわり		R7 年 4 月 10 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		移転後も利用定員に応じて、しっかりとスペースの確保が行えており、学習や運動等で十分な広さが確保できている	個別課題で仕切りを行っているが、音が気になる児童も多い為、今後も環境整備が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10		管理者兼児童指導員・児童発達支援管理責任者・社会福祉士・保育士・児童指導員（強度行動障害支援者）を含む10名に加え言語聴覚士・作業療法士が週1回専門支援にあたっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		それぞれの場所がこどもにわかりやすいように視覚表示している。音への過敏さがあるこどもさんにイヤーマフ等を準備している。	駐車場から玄関まで2段の階段があり、今後改修を検討している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日の清掃とエアドックでの空気清浄を行っている。子どもたちが活動しやすい動線づくりを行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		療育内容によって必要に応じ、個室を使用。また、クールダウンが必要なこどもさんも利用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		PDCAサイクルを回して業務を行っており、毎日のミーティング時、月1回のミーティング時にスタッフと共有しながら目標設定や振り返りを全職員が意識して取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		年に1回の保護者向けの評価表の活用以外にもその都度の保護者の意向や意見などを職員間で共有に努め、改善を図っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		毎日のミーティングや月に1回のケース会議の中でも意見交換が気軽に出来るように取り組んでおり、話した内容を業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	9	外部評価を受けていない。	第三者の評価を受けるため、外部評価の実施を検討している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		自治体での研修や有益な研修の機会があれば、情報を提供し、研修を受ける事が出来ている。また、事業所内でも定期的に研修を実施している。	人員の配置上、外部研修に全員参加する事が難しい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		支援プログラムにあたってはホームページ等を通して公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		半年に1度保護者に面談を実施している他、自宅内での課題にも支援が行えるように、管理者・児童発達支援管理責任者を筆頭に個別支援計画を作成し職員にも情報を共有している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		全職員参加の会議にてこどもさんへの支援で何が大切なのか等を十分に意見交換を重ね対応を検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		支援計画をいつでも確認できるようにファイリングされており、共有理解や同じ支援やケアが行われるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		計画相談員や保護者様からの情報だけではなく、日々の関りによって知り得た情報も全職員で共有できるように努めている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		関係機関と連携を図り、個々の5領域に基づいた支援が個別支援計画書に設定している。支援内容については、職員がどのようにしたら良いのかを具体的な内容で記載・設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		事業活動の担当を決め支援を提供している。職員全体で企画立案の意見を交換し、協力をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		季節ごとの行事や外出活動等、様々な経験が出来るよう取り組んでいる。学校休業日はプログラムが固定化しないように工夫している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		個々の特性の状況に合わせ、個別・小集団での活動に取り組んでいる。本児の負担にならないように無理ない範囲を職員間で共有している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		日々のミーティングの中で、送迎や支援担当の確認を行う他に申し送りノートでも確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		気になった事や保護者から頂いた情報等をその都度共有しており、当日に共有できない場合は翌日のミーティングにて伝え振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		毎日の記録を具体的に記載する事で、支援の検証や改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		定期的なモニタリングの前に、職員間でケース会議を設けており、計画の見直しに役立っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10		4つの基本活動を基に複数の支援を提供している。特に地域イベント情報を収集し、子どもたちが参加出来るよう努めている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		子ども自身が自己選択できやすいよう、ベースの中から選べるように工夫しています。選択が難しい子どもさんに対しては視覚的支援を交えながら、自己決定に繋がるように配慮している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		会議出席は管理者・児発管が参加しているが、事前に子どもの状況を支援者それぞれから確認している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		関係機関と定期的に連絡を取りながら、情報共有に努めているが、協力を得られない時もある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		年間予定表や下校時刻の確認など、学校の先生方と電話や面談にて確認を行っている。トラブルになり得るような場合は速やかに管理者へ連絡し、適切な対応に取り組んでいる。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		ケース会議で情報共有に努めているが、就学前に利用していた保育園等の参加が難しい時は、電話にて連絡し、後日改めて、訪問する事で、情報収集を図っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	3	現在、学校卒業し、福祉サービスへ移行するケースがないが、その際には事業所内での支援内容等を提供できるようにしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	1	地域で開催される研修等は積極的に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	5	外出レクリエーションの中で、公園や近隣の学校の運動場を利用しており、その際に児童クラブの児童さん達と交流を図っている。	今後、児童クラブや児童館にも連絡を行いながら、交流できる機会を増やせるように取り組んでいきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	6	自立支援協議会への参加はなかった。	協議会のスケジュールを把握していきながら、参加できる機会があれば調整を図ってきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎時や連絡帳、LINEにて日々のお子さんの状況を伝えしています。ご自宅の様子を連絡帳やLINEにて確認しながら、お子さんの課題を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	ペアレントトレーニングは行っていないが、家族様に対して、必要な助言や提案を行っています。家族が参加出来る研修は実施出来ない。	家族等が参加できる研修の機会があれば、その都度、ご家族様へ情報提供を行うようにし、家族支援に努める必要がある。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		運営規定や個別支援プログラム等は管理者や児発管がその都度、保護者様へ説明を行っています。活動プログラム等は毎月配布し周知を図っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		こどもさんや保護者様の意向を確認する為、可能な時間に面談を実施し、意思や意向の聞き取りを行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		計画変更の度に、支援計画書を示しながら、説明を実施しています。内容の確認後に同意を得て、サイン等を頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		定期的な面談以外でも、家族様から、悩みや不安が見られた時は、その都度、必要な助言をしています。また、状況により改めて面談の機会を設けています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	1	夏祭りや親子ふれあい会等を実施しており、交流が回りやすいように取り組んでいる。	親子交流以外の保護者（家族）のみでの交流の機会を設け、日頃の思いを吐き出せる場を作れるような支援を行ってきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		苦情窓口を設置している他、苦情担当がこどもさんや家族にも周知できるよう、玄関に掲示している。また、苦情があった時も迅速な状況把握し、対応に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		HPにて年間スケジュールを掲載している。書面でも年間行事や月間スケジュールを配布し、分かりやすいようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		鍵のかかるキャビネットに個人ファイルを保管している。家族へ写真等を配布する際は対象児以外はモザイクをする等配慮している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		お子さんの特性（視覚優位・聴覚優位等）に配慮しながら、意思の疎通が回りやすいように取り組んでいる。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8	感染防止の観点から、地域住民を招待する場面を設けていない。	地域住民が参加できる行事などを考え、地域交流を図ってきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		職員間ではマニュアルを周知できている。定期的にお子さん達と訓練を実施していますが、事前に保護者様には署名や口頭で周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		BCPは策定済。災害時に備え、定期的に訓練を実施しています。また、備蓄品の定期的な点検も行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		事前に疾患等は保護者様へ確認しています。利用時に服薬が必要な場合は、服薬情報を確認させていただき、保護者の同意の下、見守り声かけを行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		食物アレルギーの確認を利用開始以前にカクンンを行っている。指示書までの場面はないが、保護者の意向によりおやつ等提供時に職員が毎回確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		安全管理への研修以外にも、安心して活動が行えるように、警察署や消防署にご協力いただきながら、訓練や講習に取り組んでいる。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		安全確保に努められるよう、ご家族様にもご協力を頂き、緊急連絡網の作成や訓練等への参加を周知を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		些細なことでヒヤリハット報告書を記載するように、毎日のミーティング時に職員間に周知しており、事案が発生した時は再発防止の話し合いを都度行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		定期的に事業所内外で虐待防止研修に参加しており、職員の意識づけに努める他、職員自身が振り返りできるようにしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		現在、身体拘束を実施する場面は発生していませんが、必要な場合は個別に対象児とご家族へ説明し了承を得た上で計画書へも記載していく事になっている。	